

令和7年度 大阪狭山市公の施設の指定管理者 評価結果表

施 設 名	大阪狭山市立公民館
指定管理者	アクティオ株式会社
指 定 期 間	令和7年4月1日～令和8年3月31日（1年間）
所管部署名	教育部 生涯学習グループ
指定管理料	74,881,389円（令和7年度決算額）

1. 指定管理の概要

(1)指定管理施設の概要

所 在 地	大阪狭山市今熊1丁目106番地
事 業 内 容	実際生活に即する教育、学術及び文化に対する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とし、貸館事業のほか、プラネタリウム投影、各種講座、定期イベントを行う。
施 設 内 容	児童室、工作室、調理実習室、多目的室、展示フロア、茶道室、和室、プラネタリウム、集会室1・2、大集会室、講習室、会議室1・2、赤ちゃんの駅、トイレ（男女各2ヶ所、多目的トイレ1ヶ所）

(2)指定管理者の概要

団 体 名	アクティオ株式会社
所 在 地	東京都目黒区東山1丁目5番4号 KDX 中目黒ビル6階
主 な 事 業	・ 指定管理者制度に基づく公の施設の管理委託 ・ 美術館、博物館等文化施設の案内、受付、誘導等運営に関する請負業務 ・ 博覧会、展覧会、展示会、見本市、各種会議等の調査、企画立案、実施運営 ・ 都市計画、都市再開発、緑化工事の設計監理の受託業務 ・ 文化、スポーツなどの催事の企画、制作並びにその運営と実施 ・ 商品開発及びその販売促進に関する企画と実施 ・ 特定労働者の派遣及び一般労働者の派遣業務 ・ 商品の販売のための企業内社員教育及び訓練の企画と実施 ・ 印刷物、書籍、出版物の企画サービス並びに販売等

2. 評価の結果

評 価 項 目	評価点	
	一次評価 （指定管理者 の自己評価）	二次評価 （市の評価）
1. 市民の平等利用、サービス向上、利用促進について		
（1）市民の平等利用、サービスの質の維持・向上について	3	3
（2）施設の利用促進について	4	4
2. 適正な管理運営について		
（1）管理運営の実施状況について	4	4
（2）安全対策、危機管理体制について	3	3
3. 管理経費の縮減等について		
（1）指定管理に係る費用について	3	3
（2）経費の縮減に向けた創意工夫について	3	3
4. 課題への対応について		
（1）提案内容や改善すべき点への対応について	4	4
合 計	24	24
【総合評価】	A	A

3. 「2」における評価の理由

指定管理者 の自己評価	優れていた点 ・貸館事業にとどまらず、「放課後☆公民館」や「よりどころ in こうみんかん」等の取組を通じて、空き時間・空間を有効活用し、子どもや若者、子育て世代など多様な利用者が日常的に集う居場所としての機能を高めることができた。 ・市民団体や NPO 法人、学校（小・中・高校）との連携を積極的に進め、子ども食堂や各種イベント、学習機会の提供など、多様な主体が関わる事業を展開し、公民館が地域のハブとして機能している。 特に学校との連携は、これまで以上の広がりを見せている。 ・市民からの企画持込みが増加し、公民館単独ではできない多様な事業ができたと共に、「命水バンドわーくしょっぷ」「ぴよぴよライブ vol.2」「こども夏まつり」などでは、若者が主体的に関わる機会を創出することができた。 ・講座やイベントを通じて、新たなサークルの立ち上げや継続的な活動につながる事例が生まれ、学びの場から活動へと発展する仕組みづくりが進んでいる。 ・社会背景（こどもまんなか社会、居場所の必要性等）を踏まえた事業展開や、憲法・人権などのテーマを扱う学習機会の提供により、社会教育施設としての役割を果たすことができた。
----------------	---

	- 当館の特徴であるプラネタリウムの活用に努め、ニーズにあったプログラムを提供するほか、公民館単独でなく、市民・高校生等の協力を得ることで、活用の幅がひろがり、また来訪者の幅も広がった。 改善すべき点 - 一部事業については実施に至らないケースがあり、ニーズの把握や実施時期・内容の設定について、さらなる検討が必要である。 - 学校との連携のみならず、地域との連携にも努める。 - 既存団体の高齢化や活動終了が見られる中で、新たな担い手や利用層の継続的な確保・育成が課題である。 提案内容、前年度の改善すべき点への対応 - 前年度に指摘された未実施事業への対応については、内容やニーズを再検討し、別企画として再構成するなど柔軟な対応を行い、市民ニーズに応じた事業実施に努めた。 - 学校との連携については、地域学校協働活動推進員との連携強化により、小学校の複数学年との取組や教職員向けの学習機会の提供など、連携の幅と質の向上を図ることができた。 - 職員間での情報共有を進め、欠員が生じた状況においても役割を補完し合い、事業を中止することなく実施するなど、組織的な対応力の向上につながった。 - 安全管理については、日常点検および不具合への迅速な対応を継続し、施設の老朽化が進む中でも安全・安心な利用環境の維持に努めた。
市 の 評 価	優れていた点 - 市民団体や NPO 法人と連携のもと、「よりどころ in こうみんかん」などにより、交流を目的とした団体利用が増え、新規登録団体の増加につながっていること。 - 市内小学校との関係性の広がりにより、複数の学校・学年に対して学習機会を提供できた点や、地域や社会のテーマに応じた内容で事業が実施できている。 改善すべき点 - 一部実施に至らなかった事業について原因を整理し、時期や内容の見直しなど工夫を重ね、実現できるような企画に期待する。 提案内容、前年度の改善すべき点への対応 - 社会背景に即した工夫を加えながら、幅広い世代に向けて丁寧な企画・実施されている点や市民や受講者が主体的に関わる講座の展開、さらには持込企画として市民のニーズを形にするなど、公民館の役割を十分に果たしていることは高く評価できる。 - 事業の実施状況やニーズの把握を踏まえ、内容や方法の見直しを行いながら事業運営に取り組んでいる。市民が主体的に関わることができる運営体制を整え、多様な参加者が役割を持って関わる機会を創出できている。